



THE 2020 ASIA GIRLS REPORT

2020年版「アジア・ガールズ・レポート」

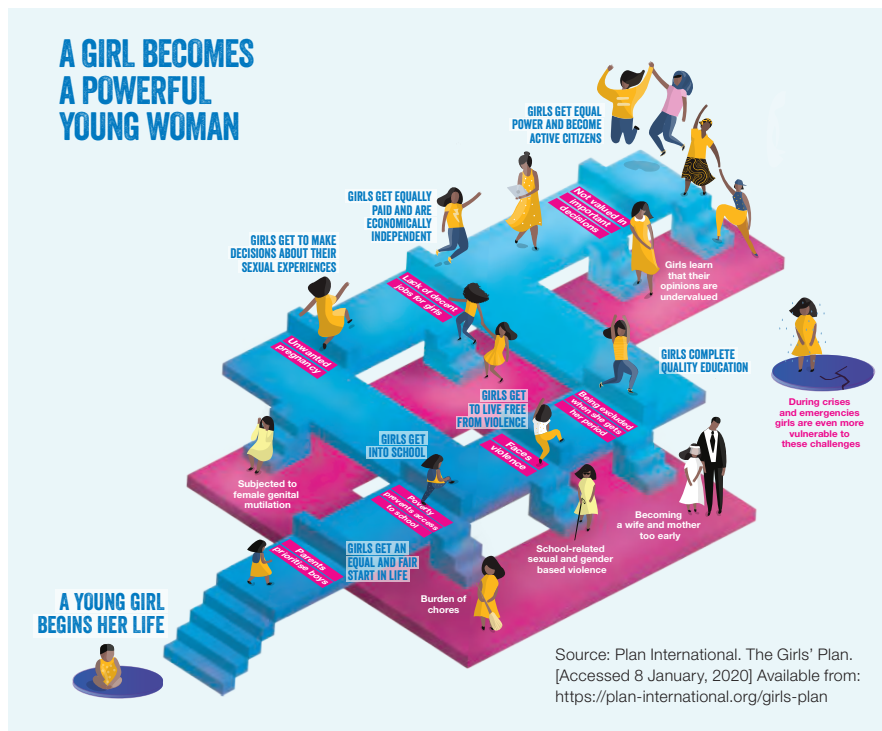
2020年のアジア・ガールズ・レポートは、アジア圏の女の子の状況に関するプラン・インターナショナルの最初の調査であり、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)に達するためのプラン・インターナショナルの貢献の一部である。レポートは、アジア・ガールズ・リーダーシップ・インデックスという新しいツールを導入し、南・東南アジアの19カ国における6分野にわたる女の子のリーダーシップの状況について示している。世界的に、思春期の女の子と若い女性に関する信用できるデータの入手が困難であり、子ども、思春期、若者といった幅広い年齢層にわたる多くの指標が使われている。アジア・ガールズ・インデックスは、政府と開発パートナーが、女の子のリーダーシップと開発への投資について情報提供、監視、評価し、2030年までにジェンダー格差を埋めるために非常に有効なツールとなるであろう。

女の子の幼少期から思春期、そして成人期への移行は、複雑で困難なプロセスである。思春期に、女の子は、人生のさまざまな側面に影響する生物学的・心理社会的な急速な変化を経験する。こうした変化は、家族の中での役割や責任、仲間やコミュニティで築く関係、教育を追い求める機会、保健医療へのアクセス、自身の今そして未来に影響する意思決定過程に参加する能力といった側面に影響を与える^{1,2}。

世界の18歳以下の女の子の11億人のうち、その半数以上が住んでいるアジアでは、女の子の幼少から成人への移行期に特に困難が伴う。アジアの大部分では、女の子と女性は軽視、過小評価されている。ジェンダーを理由に、自身の権利を知り、目標を見つけて、実行する能力を制限されるという不平等に直面し続けているのである。ジェンダーに基づく規範は、とても幼いうちから女の子に影響し、彼女たちのために家族が行う意思決定から始まっている。これらの規範は、女の子が勉強をするかどうか、何を勉強するか、高等教育を受けるか働くかといったことに影響を与えるだろう。女の子の思春期においてなされる選択は、女の子を不平等や貧困といった人生の軌道にむかわせることがある。

このため、私たちは、女の子が大人になる前から、平等な機会をもてるように支援をしなければならない。女の子たちが大人になるまでに、彼女自身によって、そして彼女たちのためにすでに多くのことが決められている。私たちはすぐに行動しなければならない。思春期は特に、女の子が社会参加や意思決定をし、残りの人生でどのような機会にアクセスできるかを定めるリーダーシップの能力を育む重要な期間である。

2020年のアジア・ガールズ・レポートとガールズ・リーダーシップ・インデックスは、この重要な期間に焦点を当て、今、女の子への支援を行うべきだと主張している。



Source: Plan International. The Girls' Plan. [Accessed 8 January, 2020] Available from: <https://plan-international.org/girls-plan>

1 McCarthy, K., Brady, M., & Hallman, K. (2016). *Investing when it counts: Reviewing evidence and charting a course of research and action for very young adolescents*. Population Council. Available from: https://www.popcouncil.org/uploads/pdfs/2016PGY_InvestingWhenItCounts.pdf
2 World Health Organization (2014). *Health for the world's adolescents: A second chance in the second decade*. Available from: https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/112750/WHO_FWC_MCA_14.05_eng.pdf?sequence=1

THE ASIA GIRLS' LEADERSHIP INDEX

アジア・ガールズ・リーダーシップ・インデックス

思春期の女の子と若い女性のリーダーシップとエンパワーメントを後押しする、または阻害する主な動向と問題に関してより深く理解するために、プラン・インターナショナルは、ASEAN地域フォーラムの一員である東ティモールを加えた東南アジア諸国連合(以下、ASEAN)と南アジア地域協力連合(以下、SAARCH)を構成する19カ国において調査した。

この調査とアジア・ガールズ・リーダーシップ・インデックスを開発するにあたり、プラン・インターナショナルは、「リーダーシップ」の定義についてより広い形態のものを考慮した。リーダーシップとは、ビジネスや政治におけるものだけでなく、女の子が自分の人生や家庭、コミュニティにおいて意思・自己決定する能力を発揮し、声をあげ、社会参加するための個人のスキルとそのようなことが実現されている状態も含む。

このインデックスは、南・東南アジアの19カ国分の、6分野(教育、経済的機会、保護、保健、政治的発言権と代表権、そして法律と政策)にわたり女の子のリーダーシップの状況を示す既存の国際的なデータを統合して整理している。地域・国レベルにおける青年期の女の子や若い女性のリーダーシップの育成への資金を割り当てる政策立案者やドナー、ステークホルダーにとって情報を提供する手段として使うことができ、文脈的に妥当で戦略的なプログラミングを支援することにもつながる。

アジア・ガールズ・リーダーシップ・インデックス:対象国内および分野ごとの順位

国	対象国内 ランキング	指標値	分野ごとの順位					
			教育	経済機会	保護	保健	意見	法律
アフガニスタン	17	0.403	19	19	16	16	15	4
バングラデシュ	18	0.401	14	17	17	15	17	5
ブータン	6	0.616	10	15	8	10	4	2
ブルネイ	15	0.502	2	4	-	2	19	4
カンボジア	11	0.582	17	5	9	11	10	3
インド	14	0.519	13	13	13	19	12	3
インドネシア	10	0.595	9	9	4	6	13	4
ラオス	8	0.603	16	12	10	13	6	2
マレーシア	9	0.600	3	3	-	3	16	4
モルディブ	7	0.611	6	8	2	9	8	4
ミャンマー	13	0.528	11	11	6	8	14	5
ネパール	16	0.470	15	16	15	18	11	4
パキスタン	19	0.361	18	18	7	14	18	5
フィリピン	2	0.717	4	6	3	12	3	1
シンガポール	1	0.778	1	1	1	1	2	3
スリランカ	5	0.629	8	10	5	7	9	3
タイ	4	0.683	5	2	12	4	7	2
東ティモール	12	0.570	12	14	14	17	5	2
ベトナム	3	0.712	7	7	11	5	1	1

インデックス・ランキングは、他国と比較した各国の女の子のリーダーシップに関する現在の状況を示している。特筆すべき点として、6分野すべてにおいて最上位または最下位になった国はなかったことで、地域内の近隣国と比較したとき、特定の分野で他国より優れている国はあるが、すべての分野において優れている国はないことを示している。

ランキングからは、相対的な順位の後背にある複雑で変化しやすい現実を見ることはできないが、各分野の数値(報告書英語版全編で入手可能)では、地域における女の子のリーダーシップの微妙な差異を理解することができる。

インデックスにおいて、上位3カ国になっているのはシンガポール、フィリピン、ベトナムであり、すべてASEANの加盟国である。シンガポールのインデックス数値が他国に比べて顕著に高いのは、4つの分野において1位を占めているところが大きい。

インデックスで下位3カ国になっているのはパキスタン、バングラデシュ、アフガニスタンであり、すべてSAARCの加盟国である。パキスタンのランキングは他国と比較して顕著に低いが、これは3つの分野において18位になっており、法律と政策の分野でも下位になっているためである。

SDGs達成にむけた国々の取り組み:

各国における女の子のリーダーシップの状況を示すガールズ・リーダーシップ・インデックスでは、フィリピンの事例を示すとともに、プラン・インターナショナルの各国事務所においては、この調査結果をステークホルダーと共有し、以下の議論を通じて有効に活用していく。

- 全体のランキングと、分野ごとのランキングについての議論
- 主要なステークホルダーを含めた、現在の、最近の、計画された状況を変えるためのイニシアティブについての議論

例: アジア・ガールズ・リーダーシップ・インデックスにおいてフィリピンは19カ国中2位であり、シンガポールの下位、ベトナムの上位に位置している。フィリピンは、法律と政策(1位)、政治的発言権と代表権(3位)、保護(3位)と教育(4位)の分野において5位以内に入っている。

フィリピンは経済的機会の分野で6位になっており、管理職雇用の指標における女性の割合において2位になっていることで支持されている。フィリピンは、この分野でほかの3つの指標においては9位以下になっており、女性の経済的エンパワーメントのための環境が弱点であることが示されている。

保健の分野でフィリピンは12位になっており、ASEANの中で最下位から2番目である。これは主に、思春期における高い出生率(19位中16位)と、最新の方法による家族計画の低い実施率(18位中11位)が原因である。フィリピンは、ほかの多くの点で優れている一方で、このギャップは、持続可能な開発課題の解決に長期的な影響を及ぼすことが予測され、ジェンダー・ギャップ指数を示すレポートにおいて、2019年の世界8位から2020年には16位に下落したことに反映されている。

最近、フィリピンの人口と開発に関する委員会は、思春期における妊娠を国家の緊急事態と宣言する行政命令を発行するよう大統領に呼びかけた。社会経済計画担当秘書のエルネスト・ベルニャ氏は、2018年12月に、リサ・ホンティベロス上院議員が提出した思春期妊娠防止法(上院法案1888)の制定を呼びかけた。この法案を可決することは、フィリピン議会が世代間の貧困の連鎖を打破し、フィリピンで女の子がリーダーシップ能力の育成と実現ができるようにする環境へと改善する重要なステップだ。

アジア・ガールズ・インデックスを開発するにあたって用いた手法は以下のとおりである。

1. 指標とデータの母集団の選択

指標の選択は、分野と見込みのある指標について概説されているプランのガールズ・リーダーシップ調査枠組みに基づいて行われた。調査枠組みは、提示された各指標に関する完全なデータセットについて国際的なデータベースを精査した。指標は、インデックスの定期的な更新を支援するために優先順位づけられたSDGsの指標とともに、国際的に認知されているオンライン上のデータベースから得た。

2. 標準化

標準化の過程は、異なる計測単位を持つ指標を統一するために行われた。この過程によって、0から1の間の数値で単位のない指標となった。そして、すべての指標が正の値に変換した。

3. 6つの分野の指標の生成

分野の指標は、各分野で標準化された正の指標を平均して得られた。等しい加重が各分野内の各指標に割り当てられた。

4. 全体の指標をつくり出すための分野の指標の集計

全体の指標は6つの分野の指標を平均することで得られた。

5. 地域の指標の算出

地域の指標(ASEANとSAARC)は、標準化された指標の加重平均を計算し、それらを単純平均で集計することで算出された。各国の10歳から19歳の女の子の人口が加重に用いられた。



活動の呼びかけ: 思春期の女の子への投資

アジア各国は、資源をどこに投資し、取り残されそうな人びと、特に思春期の女の子と若い女性への投資のインパクトをどのように評価するかについて、重要な意思決定をしなければならない。国による若者への投資は、2030年の持続可能な開発目標を達成する度合いに影響するだろう。

2030年まで10年しか残されていない中、プラン・インターナショナルは、青年期の女の子の枠組みを国家開発計画の一環として開発して取り入れ、SDGsについて報告することで、アジアのすべての国々に思春期の女の子と若い女性に投資するよう呼びかけている。

また、プラン・インターナショナルは、特にASEANやSAARCといった地域協力機構に対して、加盟国を支援し、優れた取り組みや重要な枠組みの導入について情報を共有するよう呼びかけている。

思春期の女の子への投資に対するプラン・インターナショナルの支援

プラン・インターナショナルは、活動の呼びかけに賛同する国を支援する。プラン・インターナショナルが活動している国における思春期の女の子と若い女性へのさらなる投資のために、私たちは以下の活動に取り組む。

1. 思春期の女の子と若い女性の開発枠組みの設計と導入の支援のために作業部会を含むマルチ・ステークホルダー・コミュニティの設立を支援する。
2. 思春期に関する状況分析を進展させるため、国・地域レベルの話し合いに参加する。
3. 国固有の枠組みづくりのための適切な手段と方法論を共有する。

思春期の女の子と若い女性の開発枠組みづくりの過程

思春期の女の子と若い女性の開発を支援するために自国の枠組みづくりをする国は、以下のステップを参照することを推奨する。

ステップ1. 自国の思春期の女の子と若い女性の開発のために特に重要で優先的な分野を特定する(アジアのガールズ・リーダーシップ・インデックスを含む二次的データや調査を使い、女の子に意見を聞くこと)。

ステップ2. 特定した優先課題に対処しているSDGsグローバル指標を見直す。

ステップ3. 自国の思春期の女の子と若い女性にとってもっとも適切な具体的な指標を特定するために、選ばれたSDGsグローバル指標を、SDGsローカライズ指標の枠組みや国勢調査の指標と比較する。

ステップ4. SDGsローカライズ指標の枠組みに沿っている、入手可能な国家統計の指標(年齢や性別で内訳されたものがよい)を見直す。

ステップ5. ステップ2と3で特定された利用可能な指標に基づく自国の女の子の4から6つのニーズに焦点を当ててカスタマイズされた国の思春期の女の子と若い女性の開発枠組みをつくる。

ステップ6. すべての自主的な国内報告の中で選ばれた指標について評価し報告することを政府に確約させるため、中央政府と主要なパートナーと協働する。

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGOです。創立は1937年。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発をすすめてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関や国際機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22
サンタワーズセンタービル10F&11F
Tel: 03-5481-3533 Email: advocacy@plan-international.jp

 [Planinternational.jp](https://www.facebook.com/Planinternational.jp)  [@Plan_Intl_jp](https://twitter.com/Plan_Intl_jp)

